

平成16年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		財団法人 武蔵野健康開発事業団						
①	指標名	人間ドック・オプション検査実施件数			目標値	1,600件	実績値	1,702件
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	106.4%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:件)		1,237	1,528				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①人間ドック受診申込受付時にオプション検査実施の周知及び勧奨を行った。 ②人間ドックの前年度受診者に対して受診勧奨はがきを送付する際には、オプション検査も実施中であることを伝える。 ③HPを利用して、オプション検査に関するさらに詳細な情報を掲載した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○目標値はクリアしたが、人間ドック受診者の約60%がリピーターであることを考えると、オプション検査受診者数は今後も微増傾向が続くと思われる。 ○オプション検査導入後3年が経過したことから、受診者のニーズの広がりに対応するために新たな検査項目を追加するなどの検討が必要と思われる。							
二次評価	●平成14年度から始まった人間ドックオプション検査は、健康意識の高まりを背景に好評を得て目標とする件数を大きく上まわった。 ●1日18名定員の人間ドック受診者の約半分がオプション検査を受診している状況である。 ●人間ドック受診者の6割以上がリピーターであることを考えると、オプション検査のニーズはまだまだ広がりを見せると予測されるので、検査項目の充実が望まれる。							
②	指標名	自主事業収入(収益事業)			目標値	80,000千円	実績値	75,550千円
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	94.4%	達成状況	未実施(未達成)達成
	(単位:千円)	62,874	70,427	75,212				
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①受診者の増加を目的として、人間ドック(オプション検査含む)では、例年どおり前年の受診者へ受診の勧奨ハガキを送付し、市内事業所及び個人を対象とする職域健診では前年度に利用があった事業所を対象に新たに受診案内状を送付した。 ②個人健診に関しては、対象を公的団体だけでなく広く民間事業所等まで拡大した。 ③ホームページの掲載内容の充実を図り、健診全般に渡りより詳細な情報提供を行った。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○各事業の前年度比較では、人間ドック99.7%、同オプション検査111.4%、職域健康診断114%の実施状況であったが、健診91.1%、依頼検査93.3%となり、目標を達成できなかった。 ○基本健診については受診者が全体的に減少傾向でこの影響によるもの、依頼検査については、特定医療機関での依頼が減少しているところから、各機関で検査を行うようになったことなどによると考えられる。 ○一方で、検査予約が先にならないと取れないという状況もあるため、基本健診及び依頼検査の受け入れを拡大できるよう健診体制の見直し等を行う。							
二次評価	●医療機関からの依頼による検査事業と基本健康診査が前年度比7~9%の落ち込みがあったため、目標値を下回った。 ●一方、人間ドックオプション検査と市内の事業所から依頼を受けて行う職域健康診断は前年比10%以上の伸びがあった。 ●運営の自立性を高めるためには、自主財源の確保を図る必要があり、上記事業の受診者数をさらに増やすとともに、基本健診や依頼検査についても受入の拡大を図ることが有効である。							
③	指標名	固有職員の嘱託化			目標値	可能な限り固有職員の嘱託化を検討する	実績値	1名嘱託化
	過去の実績	平成13年度	平成14年度	平成15年度	達成率	100.0%	達成状況	未実施・未達成(達成)
	(単位:名)							
	取組内容	※16年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ①平成16年度末での固有職員の退職者1名分(臨床検査技師)については、嘱託職員採用で対応した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ○今後とも、職員補充や業務増に対応する職員採用の必要性が生じた場合には、可能な限り嘱託職員で対応し、組織の簡素化・効率化に努める。							
二次評価	●平成16年度は固有職員の退職1名分を補充せず、嘱託化を図った。 ●事業運営コストの大部分を占める人件費の抑制は大きな課題である。今後も可能な限り嘱託職員等で対応するなど、簡素で効率的な組織運営を図っていくことが大切である。							